

## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社フィスコ 上場取引所 東  
 コード番号 3807 URL <http://www.fisco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 狩野 仁志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松崎 祐之 TEL 03-5774-2440  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	243	2.9	△9	—	167	717.0	758	—
2020年12月期第1四半期	236	△91.0	△45	—	20	—	20	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 844百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	16.60	16.56
2020年12月期第1四半期	0.47	0.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,339	2,005	84.6
2020年12月期	2,720	1,297	46.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,979百万円 2020年12月期 1,272百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,094	△2.2	91	47.6	285	—	873	—	19.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期 1 Q	45,776,722株	2020年12月期	45,776,722株
------------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年12月期 1 Q	91,701株	2020年12月期	91,701株
------------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期 1 Q	45,685,022株	2020年12月期 1 Q	44,251,927株
------------------	-------------	------------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、「添付書類」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（5）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（自2021年1月1日至2021年3月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により発令された2度目の緊急事態宣言が、個人消費、企業活動、雇用環境等経済活動に大きな影響を与えました。緊急事態宣言解除後に経済活動は再開したものの、4月23日には3度目の緊急事態宣言が4都府県に発令されるに至り、依然として新型コロナウイルス感染症の再拡大により先行きが不透明な状況が続いております。

しかしながら、当社事業の情報サービスと関連性の高い国内株式市場におきましては、振れ幅を伴いつつも、ここまで総じて堅調な地合いを維持しており、2020年12月30日から2021年3月29日まで、日経平均株価は7.1%、東証株価指数（TOPIX）は10.5%、それぞれ上昇しています。新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない状況が続く中、足元ではワクチン接種が開始されるとともに、同感染症の拡大防止対策を講じつつ、徐々に経済活動の正常化への動きが進むものと想定されます。

当社の持分法適用関連会社である株式会社Zaif Holdings（以下、「Zaif HD」といいます。）は、2021年3月15日に株式会社CAICA（以下、「CAICA」といいます。）の連結子会社となりましたが、引き続き当社もZaif HDの株式を保有しており、当社の持分法適用関連会社としての位置づけに変更はありません。また、同社は暗号資産交換業を営む株式会社Zaif（以下、「Zaif」といいます。）を子会社に持ち、新しいデジタルアセット経済圏として発展しつつある暗号資産市場の活況により、投資家の需要を取り込みながら成長していくと考えられます。引き続き当社グループでは、暗号資産の情報、交換所、同システム、金融仲介機能を網羅し、暗号資産による一気通貫のサービス提供を可能とすることを成長戦略としています。また、当社は2016年に企業トークン、フィスココイン（略称「FSCC」）を発行しており、FSCCを当社個人向けサービスである「クラブフィスコ」における決済通貨として採用するなど、暗号資産分野において積極的な取り組みを行っております。FSCCを決済通貨として利用促進することで、利用者が様々なメリットを享受できるようなフィスココイン経済圏の形成に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は243百万円（前年同期は236百万円の売上）、売上原価は91百万円（前年同期は96百万円の売上原価）となりました。売上総利益は152百万円（前年同期は140百万円の売上総利益）となり、販売費及び一般管理費は161百万円（前年同期は185百万円の販売費及び一般管理費）となり、営業損失9百万円（前年同期は45百万円の営業損失）となりました。営業外収益でZaif HDの持分法による投資利益87百万円及び暗号資産売却益99百万円を計上したことなどにより経常利益は167百万円（前年同期は20百万円の経常利益）となりました。CAICAによるZaif HD子会社化に伴う持分法変動利益592百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は758百万円（前年同期は20百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となり、各利益数値は事業計画を上回る水準で推移しました。

なお、セグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### ① 情報サービス事業

金融・経済情報配信サービス分野におきましては、法人向けリアルタイムサービスが前期比で減少しているものの、アウトソーシングサービスの取引増加及び個人向けサービスである、「クラブフィスコ」の売上が伸長している他、暗号資産マーケットの急伸に伴った広告売上高の増加なども加わり、前期比で22百万円増加し、売上高は118百万円（前年同期は96百万円の売上）となりました。

上場企業を対象としたIR支援及びコンサルティングサービス分野におきましては、中核サービスであるスポンサー型アナリストレポート（企業調査レポート）の受注が計画以上に推移し、前期比でも3百万円増加しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高は105百万円（前年同期は120百万円の売上）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は223百万円（前年同期は216百万円の売上）となりました。セグメント利益は58百万円（前年同期は36百万円のセグメント利益）となりました。

## ② 広告代理業

広告代理業分野では、需要が高まるネット広告や動画制作に重点を置いた提案活動を行っており、特に東京2020オリンピック・パラリンピックに対応する競技団体や関連団体での受注を獲得してまいりました。また業態によるもののコロナ禍でツール等の制作が止まっていた企業も弱含みながら復活しつつあることから、販促ツール制作も徐々に獲得できる状況となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18百万円（前年同期は20百万円の売上）となり、セグメント利益は3百万円（前年同期は5百万円のセグメント利益）となりました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う東京オリンピック・パラリンピックの開催如何及びクライアント企業の事業活動の自粛等、広告掲載等への影響が不透明な状況であり、今後の業績に与える影響が懸念されます。

## ③ 暗号資産・ブロックチェーン事業

株式会社フィスコ・コンサルティングは、暗号資産に対する自己勘定投資を行っており、損益の純額を売上に計上しております。昨年来の暗号資産価格の急上昇にもかかわらず、そのボラティリティの大きさから、リスクを抑えた運用を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は0百万円（前年同期は0百万円の売上）、セグメント利益は0百万円（前年同期は0百万円のセグメント利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて381百万円減少し、2,339百万円となりました。これは、CAICAによるZaif HDの子会社化に伴い持分変動利益が計上された一方で、従前計上していた持分法適用に伴う負債を当第1四半期会計期間より投資有価証券に含めて表示したことで、投資有価証券が348百万円減少したことなどが主因であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,088百万円減少し334百万円となりました。CAICAによるZaif HDの子会社化に伴う持分法適用に伴う負債が1,125百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、持分法変動利益592百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ707百万円増加の2,005百万円と大幅に増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年2月28日付「2020年12月期～2022年12月期中期経営計画」で公表いたしました通期の業績予想について、直近の業績に基づき、変更しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、当社の業績が大きな影響を受け、通期の業績予想について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	187,386	235,211
売掛金	233,426	186,456
仕掛品	17,375	14,424
預け金	16,567	15,623
前払費用	6,323	9,462
その他	32,738	52,659
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	493,802	513,821
固定資産		
有形固定資産	37,370	58,575
無形固定資産		
ソフトウェア	112,370	34,933
のれん	62,025	57,595
その他	1,983	1,983
無形固定資産合計	176,379	94,512
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895,144	1,546,395
差入保証金	21,755	21,759
長期貸付金	52,923	52,923
長期未収入金	8,690	6,942
繰延税金資産	36,105	36,105
その他	5,836	15,836
貸倒引当金	△7,106	△7,106
投資その他の資産合計	2,013,349	1,672,856
固定資産合計	2,227,099	1,825,944
資産合計	2,720,902	2,339,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,133	20,260
前受金	25,279	31,746
短期借入金	79,678	73,014
1年内返済予定の長期借入金	29,141	23,305
未払金	31,375	42,001
未払法人税等	4,313	1,095
その他	30,064	64,237
流動負債合計	213,984	255,659
固定負債		
長期借入金	59,824	55,488
退職給付に係る負債	15,767	1,138
長期末払金	8,378	22,108
持分法適用に伴う負債	1,125,041	—
固定負債合計	1,209,011	78,735
負債合計	1,422,996	334,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,651,855	1,651,855
利益剰余金	△247,823	373,681
自己株式	△10,351	△10,351
株主資本合計	1,493,679	2,115,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△221,296	△135,336
その他の包括利益累計額合計	△221,296	△135,336
新株予約権	25,522	25,522
純資産合計	1,297,906	2,005,371
負債純資産合計	2,720,902	2,339,765

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	236,851	243,656
売上原価	96,790	91,592
売上総利益	140,060	152,063
販売費及び一般管理費	185,826	161,718
営業損失(△)	△45,765	△9,654
営業外収益		
受取利息	406	775
為替差益	5	—
持分法による投資利益	33,575	87,930
暗号資産評価益	—	557
暗号資産売却益	30,178	99,959
その他	6,736	174
営業外収益合計	70,901	189,397
営業外費用		
支払利息	1,082	763
為替差損	—	11
支払手数料	—	7,956
その他	3,578	3,727
営業外費用合計	4,661	12,459
経常利益	20,474	167,283
特別利益		
持分変動利益	—	592,352
関係会社株式売却益	—	23
特別利益合計	—	592,375
税金等調整前四半期純利益	20,474	759,659
法人税、住民税及び事業税	1,021	1,108
法人税等調整額	△1,356	—
法人税等合計	△335	1,108
四半期純利益	20,809	758,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,809	758,550

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	20,809	758,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,340	85,959
持分法適用会社に対する持分相当額	2,520	—
その他の包括利益合計	179	85,959
四半期包括利益	20,988	844,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,988	844,510

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高(千円)	100,000	1,651,855	△247,823	△10,351	1,493,679
当第1四半期連結会計期間末までの変動額(累計)					
剰余金の配当			△137,055		△137,055
親会社株主に帰属する四半期純利益(累計)			758,550		758,550
連結範囲の変動			9		9
当第1四半期連結会計期間末までの変動額(累計)合計	—	—	621,505	—	621,505
当第1四半期連結会計期間末残高(千円)	100,000	1,651,855	373,681	△10,351	2,115,185

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報 サービス事業	広告代理業	暗号資産・ブ ロックチェー ン事業				
売上高							
外部顧客への 売上高	216,000	20,271	537	42	236,851	—	236,851
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	216,000	20,271	537	42	236,851	—	236,851
セグメント利益 又は損失(△)	36,787	5,750	429	△48	42,918	△88,684	△45,765

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△88,684千円は、各セグメントに帰属していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報 サービス事業	広告代理業	暗号資産・ブ ロックチェー ン事業				
売上高							
外部顧客への 売上高	223,957	18,546	652	500	243,656	—	243,656
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	223,957	18,546	652	500	243,656	—	243,656
セグメント利益 又は損失(△)	58,550	3,444	525	412	62,933	△72,587	△9,654

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△72,587千円は、各セグメントに帰属していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。